

宮崎大学平成28年度入札監視委員定例会議事概要

開催日及び場所	平成29年2月17日（金） 宮崎大学事務局3階会議室	
委 員	委員長 中澤 隆雄 委員 川崎 康司 委員 成見 正毅	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年12月31日	
抽出案件（合計）	3件	（備考） 宮崎大学入札監視委員会細則第5条にのっとり、互選により中澤委員が委員長に選出された。 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事（小計）	3件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	2件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質問	回答
<p>1. 平成28年1～12月の入札・契約結果について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率について、前年より高くなっているがなぜか。 ・完成予定日が年度末の工事が多いがなぜか。 ・東日本大震災によって入札をしても業者が参加しない等の影響はなかったのか。 ・入札参加業者が減っているのは、技術者の確保が難しくなっているためなのか。 <p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (事務局より説明)</p> <p>(1) 一般競争入札 【(木花)温室取設工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期が3月21日までとなっているが、工事の進捗状況はどうか。 ・フィルム温室とのことだが、ガラス温室とフィルム温室はどのように違うのか。 ・3者に競争参加資格があったが、1者入札となった原因は何か。 ・入札は何回まで執行できるのか。 ・競争参加資格の中で、技術者に求める資格はどのように決定しているのか。 <p>(2) 一般競争入札 【(医)臨床研究棟3階改修電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事の落札者は株式会社恒富電業とあるが、図面には岡崎設計と記載されている。設計業務は岡崎設計に委託したということか。 ・岡崎設計に設計委託し得られた図面で、どの程度の工事を発注したのか。 ・設計の段階で、発注予定工事の予算計画をしているのか。 ・設計の段階で、発注予定工事で使う資材等を指定することがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年に比べて参加業者数の少ない案件が多く、競争性が下がった結果、落札率が高くなったのではないかと考えられる。 ・単年度予算のため、年度初めに予算が決定し、設計等を行った後に工事を発注すると、完成予定日が年度末となることが多くなる。発注時期はできるだけ平準化できるよう努めている。 ・平成28年の工事では特に影響はなかったように思う。 ・そのように思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、基礎工事が完了し、今後本体工事に着工する予定で順調に進捗している。 ・従来、割れやすいが耐候性が高く清掃が容易なガラスを使用したガラス温室が多かったが、最近ではフィルムの耐候性等質の向上が著しく、10年程度は維持できるため、ガラスに代わりフィルムを温室に使用する事が多くなった。また、フィルムは、ガラスに比べ軽いので耐震性向上にもつながる。 ・入札を辞退した2者にヒアリングを行ったところ、2者とも複数工事を施工中であり、技術者を確保できなかった。そのうち1者は社内の都合もあり、入札参加を見送ったとのことであった。 ・原則は2回である。 ・建設業法で定められている金額基準に基づき、技術者に求める資格を決定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。設計は事前に別途、岡崎設計に委託しており、完成図面をもとに工事入札を行っている。 ・本工事と建築、機械設備工事、さらに、建築、電気設備、機械設備のⅡ期工事の計6件を発注している。 ・している。 ・する場合もある。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 図面に本工事範囲外と記載されている箇所があるが、当該箇所は本工事完成後に別に発注するⅡ期工事で施工するというのか。 ・ 競争参加資格の中に地域要件を設定することはできないのか。 ・ 業者は発注予定工事の情報をどのように入手するのか。 ・ 4回入札を執行したのはなぜか。 ・ 競争参加資格の中で、設計業務等の受託者と一定の関連がある建設業者でないこととあるが、設計業務等の受託者は明示しているのか。 ・ 設計業務等の受託者と一定の関連がある建設業者でないことはどのように確認するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおりである。 ・ 地域要件が必要であれば設定することになっている。少額工事であればほとんど県内業者が受注している。 ・ 年度初めに1年間の発注見通しを文部科学省ホームページ等で公表している。年度途中で発注見通しに変更があれば、変更部分を公表している。また、入札に付す際には、入札公告を本学ホームページ等に掲載している。 ・ 入札金額が予定価格に近い金額だったため、執行者の判断で4回入札を執行した。 ・ 入札説明書に明示している。 ・ 競争参加申請時に業者に誓約書を提出させており、当該書面により確認している。
<p>(3) 随意契約</p>	
<p>【(木花)機械実習工場等換気設備改修工事】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札に参加した4者は県内業者か。 ・ 工事で使用する資材をメーカー指定することはあるのか。 ・ 入札を2回で取止めたのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ そのとおりである。 ・ 指定はしないが参考で示すことはある。業者から提案があれば監督者と協議する。本学が求める性能を下回らないようにしている。 ・ 原則どおり2回で取止めて、随意契約協議とした。
<p>3. その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 業者が施工した工事に瑕疵があることはないのか。 ・ 基礎等の見えない部分の検査はどのようにしているのか。 ・ 平成28年の発注件数は少なかったが、平成29年度の発注件数は多くなる予定なのか。 ・ 最低制限価格を設定することはあるのか。 ・ 落札率等は事後公表するのか。 ・ 工事成績評定点は何に基づいて採点しているのか。 ・ 工事成績の表彰制度はないのか。 ・ 宮崎県と国の機関で工事成績評定点到差があるのだが、宮崎大学ではどうか。 ・ 電子入札でなく紙入札を行う場合もあるのか。 ・ 電子入札で予定価格等の入力を間違えることはないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨漏りや空調の不調等の軽微な瑕疵が発生することはある。重大な欠陥は今までにはない。 ・ 業者と協議し、施工時に監督者が立ち会う等の検査を行っている。 ・ 平成28年度と同程度と考えている。 ・ ない。最低基準価格を設定することはある。 ・ 予定価格や落札価格等を事後公表している。 ・ 文部科学省の評定要領（全省庁統一）に基づいて採点している。 ・ ない。 ・ 監督者の主観で判断する評価項目もあり、当該項目で評定する機関により差が出てくる可能性は否定できない。 ・ 基本的に電子入札である。電子入札システムを使用できない等の事情があれば、紙入札を行うこともある。 ・ 複数人でチェックしながら入力する等、間違いが起らないよう工夫している。